

横浜港「ジャックの塔」をイメージ

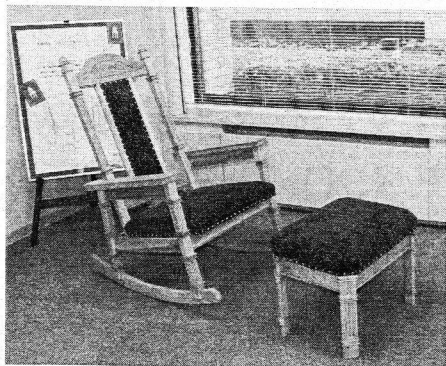
商工中金は横浜支店（横浜市中区）で、横浜港のシンボルである「横浜三塔」の「ジャック（横浜市開港記念会館）」をイメージしたロッキングチェア（写真）を4月末まで展示する。支店のロビーに設置し、実際に来店客が座れる。畔田高志横浜支店次長は「待ち時間に横浜ならではのおしゃれな椅子に座ってくつろいでもらいたい」と顧客にアピールする。

椅子の製作は神奈川県家具工業組合（横浜市中区）に所属する若手経営者グループ「かなもく塾」が手がけた。白のホワイトアッシュ、赤をベースとしたビロードを組み合わせた配色でデザインにこだわった。

横浜三塔は外国船が横浜港に入港した際、船員が目印となる塔をランプ

地元家具工組がロッキングチェア

商工中金横浜支店に展示



のカードに見立てて名付けたことが由来とされる。神奈川県庁が「キング」、横浜税関が「クイーン」、横浜市開港記念会館が「ジャック」の愛称で呼ばれている。（横浜）